

今!



憲法9条・24条・25条

を考える

ロシアのウクライナ侵攻が深まり、戦争の悲劇が繰り返されています。繰り返し流れるTVニュースに77年前の沖縄戦を重ねて見ている市民も少なくありません。武力紛争や戦争では、女性の人権が性暴力によって侵害されます。

人権の確立は、平和な社会の構築と密接に結びついています。

憲法24条に謳われた「個人の尊厳と両性の平等」が実現できる平和な社会でないと「ジェンダー平等」な社会は実現できません。

約3年にわたるコロナ禍で多くの人々が失業や貧困にさらされ、「生存権」すら脅かされている現状も浮き彫りとなりました。

私たちが安心して、安全に暮らすには、今、何が必要でしょうか？

本講座では、ジェンダー憲法学を専門とする高良さんに、「日本国憲法」の9条「平和」・24条「平等」・25条「生存権」を分かりやすく解説していただき、参加者と共に考えます。



日時 **12月10日(土) 午後2時～4時**

たから さちか

講師: **高良 沙哉さん**

(沖縄大学人文学部福祉文化学科教授)

会場: なは女性センター 第2学習室

対象者: 関心のある方 / 定員: 36人(事前申込先着順)



*市在住・在勤・在学の方は手話通訳が利用できます。

12月2日(金)までにお申し込みください。

なお、一時保育は当面の間、休止いたします。

講座のお申込みは、QRコードからでもできます。

●講師プロフィール

1979年那覇市生まれ。北九州市立大学大学院社会システム研究科修了 博士(学術) 沖縄県内の大学、専門学校での非常勤講師を経て、2011年より沖縄大学人文学部福祉文化学科教員。専門はジェンダー憲法学。

主な著書に『慰安婦問題と戦時性暴力』法律文化社(2015年)、『琉球沖縄における植民地主義と法制度』『ヘイトクライムと植民地主義』三一書房(2018年)など。共著に『ピンポイントでわかる自衛隊明文改憲の論点』現代人文社(2017年)『沖縄タイムス』「思潮2017」「思潮2018」担当などがある。



なは女性センターを利用される皆さまへご協力のお願い



「なは女性センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、ご利用いただきます。

体調のすぐれない方は、ご利用をお控えください。マスク着用、検温、手指消毒のご協力をお願いします。

今後の状況により、変更する場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください。

講座を
終えて

講座名:沖縄、若年妊娠・出産を考えるー調査と支援の現場から
開催日:2022年10月1日(土)午後3時30分～6時 参加者:100人
講師:上間 陽子(琉球大学教育学研究科教授)



▲講師の上間陽子さん

2022年10月1日(土曜日)、なは女性センターは開館26周年を迎え、その記念となる日に、琉球大学教授の上間陽子さんをお招きした特別講演を行いました。講演では上間さんに調査・研究を進めた経緯や、研究対象となった女性たちが生きてきた社会がどのような状況だったのかについて話していただきました。10代で妊娠・出産、育児を経験する女性たちは、皆が同じような家庭状況や生活水準、コミュニティの中で生きているのではなく、一人ひとり異なる背景や生き方をしていることがわかりました。

特に印象に残っているのは、実母と女性の関係がいい場合や、暮らしている地域に色々話せる友人がいる場合には、女性の産前産後のサポートは上手くいくケースが多いということ。また、実母と女性の仲がいい場合、実母の姉妹(女性にとってはおばに当たる人)のサポートも得やすいという調査結果に驚きました。

那覇市には、地元から離れて子育てをしている家庭が多くあります。那覇市が地元であったとしても、家族から支援を得られないケースもあります。講話を聴きながら、子育てをしている親たちを孤立させない社会づくりと行政の役割について課題が浮かび上がってきました。同時に、妊娠・出産、子育てを経験している、もしくはこれから経験しようとしている女性たちを「産んだ責任」という冷たい言葉や態度で社会の隅に追いやったとしても、問題は一切解決しないのだと再確認させられました。

講演会の当日は、上間さんが琉球大学教授の本村真さんと共同代表を務めるシェルター「おにわ」の1周年でもありました。「かわいいもの」「美味しいもの」を女の子たちと一緒に囲み、お母さんの気持ちが安定すれば、生まれた



▲オープニングでの城間幹子市長(当時)の挨拶「パートナーシップ・ファミリーシップ登録」開始を発表しました。

ばかりの赤ちゃんも安定する、との話もありました。お母さんの気持ちを最優先にした「おにわ」の方針です。参加者のみなさんのアンケートからは、息をのんで上間さんの声に耳を澄ませたという感想が多く寄せられました。

「聞く人」がいることは希望だと、上間さんは対談本『言葉を失ったあとで』の「あとがき」の中で述べています。誰の声に耳を傾けるのか、なは女性センターの職員・スタッフで考えていきたいと思えます。

ご参加いただいた市民の皆さん、ありがとうございました。

講座を
終えて

講座名:暮らしの中の「ジェンダー」表現を考える 講座
開催日:2022年9月15日(木) 午後7時～8時30分 参加者:16人
講師:慶田城 七瀬さん(琉球新報記者)
島袋 琿ノ(モバイルプリンス(スマートフォンアドバイザー))

今年3月に新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チームにより『失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック』(小学館)が出版されました。

書籍の編集・出版に関わった、琉球新報デジタル編集グループの慶田城七瀬記者とスマートフォンアドバイザーのモバイルプリンスさんを講師にお招きして、「暮らしの中のジェンダー表現を考える」をテーマに開講しました。

「夫婦の対等な呼称を知りたくて」参加された方のグループでは、「妻や夫」や「パートナー」「お連れ合い」などの意見がでていました。「お連れ合い」などの言葉を使い慣れていないため、言いづらく、どうしたものかと悩む参加者に、「これから意識して使い慣れていきましょう!」などと、活発で積極的な意見がありました。



▲講師のモバイルプリンスさん

慶田城さんとモバプリさんは、参加者が緊張せずに、思いの意見が言える安心な場づくりが上手く、参加者は、コロナ禍の中での久しぶりの対面講座にイキイキと話し合っていました。



▲講師の慶田城七瀬さん

受講者が感じている「モヤモヤする」メディアの表現

- 母親だから当然
- 長男だからトートメーを継がないと...
- 愛妻弁当
- 男顔負け
- イクメン
- 日常会話で感じる「モヤモヤ」言葉
- ご主人は...
- 美しすぎる議員
- ウグイス嬢
- ご父兄のみなさま～

11月は「児童虐待防止推進月間」です!!

たとえ勘違いだったとしても。
「あの親子、大丈夫かな」と
思ったら、迷わずご連絡ください。

児童相談所
虐待対応ダイヤル
いち はやく
189

それは、親子の未来を守る連絡

「あの親子、大丈夫かな」と思ったら、迷わずご連絡ください。

児童相談所 虐待対応ダイヤル
189

- ・お住まいの地域の児童相談所につながります。
- ・通告・相談は匿名で行うことも可能です。
- ・通告・相談をした人やその内容に関する秘密は守られます。

▲主唱：厚生労働省

それは、親子の未来を守る相談

ママもパパも、一人で抱え込まないで。
子育ての悩み、家族のこと、
こちらにご相談ください。



通話料
無料

児童相談所 相談専用ダイヤル

いち はやく おなやみ

0120-189-783

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間

期間:11月18日(金)～24日(木)

法務省の人権擁護機関では、女性をめぐる様々な人権問題に積極的に取り組むことを目的に、11月18日(金)から同月24日(木)の1週間を全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間としています。

「女性の人権ホットライン」強化週間

11月18日(金)～24日(木)

ひとりでも悩まず
電話してください。

ハラスメント
性被害
暴力
インターネットによる
相談中継

0570-070-810

強化週間中は、夫やパートナーからの暴力、職場等におけるセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為といった様々な相談について、平日の相談時間を延長するほか、休日(土・日・祝日)も電話に応じます。

相談は秘密厳守となりますので、
どうぞ安心してご相談ください。

相談
無料

受付時間

平日:8時30分～19時 / 土日祝:10時～17時

ゼロ ナナ ゼロの ハートライン

0570-070-810

Book

★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。

★貸出し期間:2週間 お一人2冊まで

1)『差別は思いやりでは解決しない』

ジェンダーやLGBTQから考える

神谷悠一 著/ 集英社

2022年8月22日発行 / 221頁

差別は思いやりでは
解決しない
ジェンダー・LGBTQから考える

神谷悠一

「良識的」な人が
差別をなくすことに
後ろ向きである理由

集英社新書

集英社新書

新着本です!

2)『LGBTQの家族形成支援』

生殖補助医療・養子&里親による

二宮周平編 / 信山社

2022年6月28日発行 / 372頁



★\インスタ 始めました! /

なは女性センターの公式Instagramを11月15日(火)からスタートしました!

たくさんの女性たちが元気になるような情報をお届けします。これまでのなは女性センターの利用者に加え、10代や20代の女の子たち&女性たちに向けた発信を企画していきますよ。

ぜひのぞいてみてくださいね。



第31回 金城芳子基金

沖縄の女性のため、社会的に意義のある活動や調査研究を行う個人、団体及びグループに資金を助成します。



募集締切

令和5年(2023)

3/31(金)

当日消印有効

助成金額

30万円

助成件数: 1件

助成対象: 原則として女性であること
(個人、団体及びグループ)

応募方法: 自薦、他薦は問わない

応募用紙: 「公益財団法人 沖縄協会」のホームページからダウンロード可

審査発表: 令和5(2023)年4月下旬

問い合わせ・応募先

「金城芳子基金」運営委員会

事務局長: 浦崎 成子

電話: 098-944-5025

e-mail: urasaki1@diary.ocn.ne.jp



↑ アクセス
公益財団法人
沖縄協会

相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用してみませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談
- 面接相談(女性のみ・要予約)
- 法律相談(女性のみ・予約制)

 **098-861-7515**

月～土 午前9時～12時／午後1時～5時

「ストップ・DV」情報提供

相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。

性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。



- モノレール「古島駅」下車 10分
- 路線バス
 - 新都心区内(10番)なは市民協働プラザ前バス停下車すぐ(8番)銘苅1丁目バス停下車5分(99番)那覇国際高校前バス停下車7分
 - 県道82号線側(11番・55番・56番)古島バス停下車10分
 - 国道330号線側(11番・55番・56番・88番・90番・98番・112番)真嘉比バス停下車10分、興南高校前バス停下車10分



なは女性センター
メール



なは女性センター
ホームページ



 Facebook

那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録

「那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録」は、市長がパートナーシップ・ファミリーシップの関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、「登録証明書」及び「登録証明カード」を交付するものです。

登録数 **47 組**
2022年11月15日現在

■「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)の理念に基づく取り組みです。登録によって何らかの法律上の効果(相続、税金の控除など)が生じるものではありません。



- お問い合わせ・申請の予約
TEL. 098-951-3203
- ◆ 月～金:午前9時～午後5時
* 祝日、慰霊の日(6/23)、年末年始(12/29～1/3)を除く



レインボー交流会の開催について

「交流の場がほしい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた誰でも参加できる交流会です。

主催:市民団体ていーだあみ
メール: tiidaami.okinawa@gmail.com



※「レインボー交流会okinawa」で検索すると、フェイスブックで最新情報を確認できます。

with you おきなわ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター

はやくワンストップ 24時間 365日
TEL #8891 

※繋がらない場合は、098-975-0166へ

性暴力の被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療的支援を含めた必要な支援を行っています。24時間365日体制で相談を受け付けていますので、いつでも相談できます。

◆なは女性センター講座について

*受講希望の講座は、なは女性センター窓口、電話、FAX、申込みQRコードでお申し込みください。また手話通訳、一時保育(現在休止中)の利用は、那覇市在住・在勤・在学の方が対象です。(事前予約が必要)

お問合せ 那覇市銘苅2-3-1(なは市民協働プラザ1F Aコア)
TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204
Email: s-heidan002@city.naha.lg.jp

開館時間	休館日
月～金:午前9時～午後9時	年末年始(12/29～1/3)
土曜日:午前9時～午後5時	日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)

駐車場のご利用について

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」は**有料**です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

☆なは女性センター利用者の一部免除料金

最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間までごとに	100円
※利用時間が1時間に満たない場合は1時間として計算。	